



鐘

発行者 願正寺維持会
発行所 佐賀市呉服元町 願正寺

新たな始まり

よく十年ひと昔と言われていました。我が身を振り返りますと、平成十四年五月に『就職継職法要』を勤めさせていただき、今年でまる十年を迎えさせていただきました。当時は本当に住職としてやっていたのか、不安の中での出発となりまして。そんな気持ちを探して頂いたのか、先輩のご住職から「住職になつてから、十年はかかる、焦らなくてもよい」とお諭しを受け、随分気持ち楽になつたことでした。そう教えていただいたご住職も先にお浄土へ。思えば、多くのご門徒の皆様や回りの方々に支えていただき、ここまで勤めさせて頂くことができました。しかし多くの方々との出会いもありましたが、またお

別れをしなければならぬということもありました。「前(さき)に生まれんものは、後を導き後に生まれんひとは前を訪(とぶら)え」道綽禅師の『安楽集』からの言葉です。「前に生まれんものは、この世に先に生まれた者というより、お浄土に先に生まれる方のごとでしょう。お浄土に生まれられた方は、後の人々を真実の救いの道に導いて下さる働きのお仏さまにならせていただかれます。まだこの世に止まる後のものは、人生の苦しみや悲しみ、はかなさという現実のなかで、先に往生された方々のご縁を通して、阿弥陀さまの救いに出会わさせていただきますのです。そのいのち身体を通して、老・病・死という避けるこ

との出来ない事実を私に教えて下さいました。まさに、老いていかなければならない・病にもかかっていかなければならない・死んでいかなければならない「いのち」を抱えながら歩んでいくのです。だからこそ「あなたも仏法に出あつて下さいね」と仏さまとなられ、私に呼びかけて下さっているのです。私のいのちの行き先を尋ね、間違いのない道を、最後まで生き抜かせていただきましたことであります。これからも南無阿弥陀仏・南無阿弥陀仏とお念仏申させていただき、ご門徒の皆様と共に、生かされて生きる喜びを味わっていきけるよう、十年を節目とし、新たな始まりの機縁となりますよう、勤めさせていただきます。と思ひます。

合掌
釋信隆

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要佐賀組団体参拝に参加して

願正寺門徒 片江三代次

この度親鸞聖人の七百五十回大遠忌法要参拝旅行が佐賀組からありますよと願正寺住職さんからお誘いがあり、一生の内に二度とない機会と思い参加しました。参加者の事前説明会で一六三名の参加者があり皆さん思いは同じだと感じました。十一月十六日早朝に佐賀をバスで出発して博多駅から新幹線で京都に行きました。本願寺に着き、全国からの参拝者が多くて規模の大きさに驚嘆し感動しました。昼食後、書院・飛雲閣等を見学して、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に参拝しました。法要が終わって境内に出ると、あたりは薄暗くなりかけていました。一泊日は京都市のホテル東山閣であり、旅の疲れを癒し、部屋割りや他の寺院の門徒さんと一緒に和やかに話が弾んで大変良かったと思えました。

二日目はお早朝があるので早朝にホテルを出て、阿弥陀堂・御影堂に参拝しました。法要のスローガン『世の中安穏なれ』はまさに人々が永遠に願う気持ちだと感じました。ホテルに戻り朝食をして、大谷本廟にお参りして、親鸞聖人の歩まれた、青蓮院・西明寺に参拝、見学しました。いずれも由緒ある寺院であり、国宝の仏像等が保管されており感銘しました。バスは滋賀県湖東から二泊目の岐阜県高山市へ高速道路を利用、山の上からの車窓は素

晴らしく、紅葉も鮮やかでした。高山グリーンホテルでは、夕食時の宴会でカラオケ・踊り等、皆さん芸達者の人が多くて楽しく過ぎました。

三日目は飛騨高山まつりの森を見学し、日本三大祭りに数えられる絢爛豪華な高山祭りの山車を観る素晴らしさに圧倒され、からくり人形の上演もあり大変感銘しました。バスは世界遺産である白川郷へと向かい、古い日本の文化をそのまま残して、そこで生活されている人達と接する事が出来て、凄く感動し、カメラのシャッターを何回も押ししました。

天気予報では雨でしたが、幸いにして降らず素晴らしい景色を堪能出来ました。郡上八幡博覧館に行き、郡上踊りの由来を聴き、実演を見ました。宿泊地は岐阜下呂温泉の小野屋で、温泉の湯でゆっくりに旅の疲れを癒しました。

四日目は旅行の最終日であり、朝食後、バスで名古屋へ行き、名古屋港湾で昼食をして、西本願寺名古屋別院にお参りした後、名古屋駅から新幹線で博多駅へ、後バスにて佐賀バスセンターに全員無事に到着できました。

今回の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に参加して、私は何処でも感動と感銘を受け、一生で一番の良き思い出となりました。最後に今回の旅行を企画された、各住職さん、坊守さん達に感謝申し上げます。

《行事報告》

東日本震災復興支援チャリティ―法話会開催



三月一日「佐賀真宗伝道懇話会」主催の復興支援チャリティ―法話会が願正寺本堂で開催されました。当日は六百名を超える参加を頂き、支援金も百四十万を超え、仙台別院から来られました職員さんに手渡されました。

春彼岸法要厳修



三月十七日から二十三日まで春彼岸法要を厳修させていただきました。御講師には島根県から岡田哲水先生に起こし頂き仏さまのお心を、お話しいただきました。

お花見しました今年も境内の枝垂れ桜が見事に咲くなか、十四日講と仏教壮年会主催の勉強会の皆様とお花見を行いました。



目に見えないお育て

香月 孝

朝のお勤めに、この春
 高校に進んだ末の孫が聖
 典を大切に押し頂く姿に
 気付き、思わず胸のあつ
 くなるのを覚えました。
 兄弟といつも一緒だっ
 たのが二人ともそれぞれ
 の道を歩み出して、愈々
 一人でという思いもあつ
 たのでしよう。相変わら
 ずの末っ子ながら何か心
 うに感じるものがあつたよ
 うです。

鐘百話

ボーイスカウト、カブ、
 ビーバーと三人それぞれ
 の色のユニフォームだっ
 た日から主な訓練はお寺
 で兄妹と共に受けて来ま
 した。
 たのしく心勇んで出ら
 れるのは、みんなを温か
 く包んで下さる心の輪が
 待っていて、目に見えな
 いお育てが働いているこ
 とを何かしら感じていた
 のだと信じております。

願正寺婦人会総会
並びに降誕会

四月十二日に婦人会の総会
 と親鸞聖人のお誕生をお祝い
 する降誕会を開催致しました。
 当日はお勤めとお話の後総
 会。午後からは大広間に場所
 を移し参加者共々賑やかなひ
 とときを過ごすことが出来ま
 した。今回参加されなかつた
 方も、来年は是非ご参加下さ
 い。お待ちしております。



永代経法要へようこそ
 五月十二日・十三日と二
 日間にわたり永代経法要を
 お勤めさせて頂いたさまし
 た。今年には熊本県から藤川
 顕彰先生にお越し頂きまし
 た。



ご門徒の皆様も、何か記念
 の出来事が有ったときには、
 鐘紙にぜひご投稿をお願い
 します。写真や簡単なエピ
 ソード等が有りましたら併
 せてお願いします。

前住職 熊谷 勝

昭和三十七年に、鹿児島
 県指宿市から坊守を迎え、
 皆様に支えられて、おかげ
 さまで五十年の節目を迎え
 ることが出来ました事を感
 謝申し上げます。



ご報告
 前住職夫妻は今年六月二
 十四日、金婚式を迎えます。
 子供三人の家族十四人と計
 十六名全員が揃い、三月十
 日にお祝いを致しました。

法要・行事のお知らせ

離郷門信徒の集いと

東日本応援ツアーのご案内

関東地区在住の皆様と、お盆のお勤めをさせていただきまます。なお、今回は東日本応援の意味も込めて東北への旅行を計画致しました。どうか皆様もご参加頂きますようにご案内致します。

期日

平成二十四年七月十七日(火)

七月十九日(木)

二泊三日

旅行代金 九八〇〇〇円

十七日 佐賀空港(六時二十分集合)

東京築地本願寺(盆会法要)

浅草、仙台泊

十八日 仙台別院・専能寺・称法寺

石巻・南三陸町・宿泊

十九日 平泉中尊寺・毛越寺・羽田

佐賀空港(二十時三十分)

申込閉切り 六月末日

(申込、お問い合わせも願正寺まで)

電話〇九五二―二三―四〇〇一

歓喜会のご案内

今年も八月十三日から十五日までの三日間、本堂にて歓喜会(お盆法要)をお勤めさせていただきます。どうぞご家族お揃いでお参りください。よろしくご案内申し上げます。

毎日午前九時よりお勤め引き続きご法話

大掃除よろしく願います

歓喜会を迎えるにあたり、例年通り、お寺の一斉大掃除を開催致します。八月五日の日曜日、午前六時からとなっております。最近ご参加の数が少なくなっております。ぜひ若手の方々もご参加をよろしく願います。

メンバー募集

◎仏教壮年会

毎月第1金曜日
午後7時

◎十四日講

毎月14日
午後1時半

◎あじさい会

毎月8日
午前10時

◎仏教讃歌の会

毎月第1、第3土曜
午前10時半

◎ボーイスカウト

土曜日、日曜日。
月2回程度の活動。
幼稚園の年長から
参加できます。

※お問合せは全て
願正寺まで。

第六十六回 たらおん 開催

日時 六月二十三日(土)

午後五時

場所 願正寺本堂

出場料 三〇〇円

マンドリンの
「アンサンブル・ヴェルデ」

雨のうた制作中の
「*heart*」

たらおんは、毎月第四土曜日開催です

仏教讃歌の会「コンサート開催」
今年も「第二十二回仏教讃歌の会」
コンサートを十月二十日(土)午後一時
三十分より神崎市千代田町文化会館
「はんぎーホール」にて開催されます。
願正寺仏教讃歌の会も参加しますの
で、ぜひ聞きに来て下さい。入場は無
料です。